

事業番号	09 04 08	事業改善シート(30年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	S25 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり		

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 河川湖沼漁業では外来魚及びカワウ等魚食性鳥類による食害、並びに魚病等による水産資源の減耗がみられる。種苗放流だけに頼らない増殖手法の開発が求められている。 養殖業では魚病被害がみられ、その対策が求められている。信州サーモンに続き信州大王イワナもブランド魚としての地位確立が求められている。さらに新たな養殖品種開発を継続する必要がある。 県内の漁協は水産資源の減耗、遊漁者の減少、組合員の高齢化と減少等により経営が厳しい。水産資源の回復はもとより、経営の効率化が必要である。 				30年度 決算額	81,048 千円									
					職員数	29.50 人									
目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業における水産資源の持続的有効利用及び漁場の活性化、並びに地消地産の一翼を担い、求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現を目指す。 (主な実施内容:水産資源の保全、漁業秩序の維持、確かな漁協経営の指導、養殖業の発展、水産業の振興に資する試験研究と技術開発及び技術指導並びに種苗生産など)														
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況										
	予算額	前年度繰越	86,220			No	成果指標	29年度	30年度						
		当初予算	82,062	80,231	83,252				目標値	成果	達成状況				
		補正予算	-1,756			① 信州ブランド魚生産量	401t	420t	439t	達成					
		合計(A)	166,526	80,231	83,252										
	Aの財源	一般財源	44,107	42,782	43,416						② 漁協検査の実施	14漁協	13漁協	13漁協	達成
		県債	42,000	1,000											
		国庫支出金	46,176	3,730	3,811										
		その他	34,243	32,719	36,025										
	決算額(B)	165,448	81,048												
概算人件費	職員数(人)	29.50	29.50	29.50	成果指標 設定理由										
	概算人件費(C)	239,009	242,431	242,431	①県内養殖業の振興、特に信州ブランド魚の生産及び消費拡大を図るため、その目標として設定 ②漁協の法令遵守と健全な運営を図るため、検査を実施する全31漁協中、当課担当分13漁協を目標値として設定										
	概算事業費(B(A)+C)	404,457	323,479	325,683											
備考															
目標に対する成果の状況	①信州ブランド魚生産量については目標値を上回る439tであり、目標を達成した。 ②漁協検査については、目標値どおり13漁協について検査を実施した。														

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	魚食性鳥類等の食害防止対策の更なる推進 河川湖沼漁協の経営の安定化 種々のニーズに対応した最先端の研究開発	長野県水産業の振興と更なる発展のため、河川湖沼漁業における水産資源の持続的有効利用及び漁場の活性化、並びに儲かる養殖業の実現を目指し、事業を継続して実施していく。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		外来魚等食害防止対策事業	外来魚やカワウ等による漁業被害等防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助等を実施した。	0.90	1,852	1,789	1,852
2		諏訪湖環境改善対策事業	漁場活性化のため、取組検討(アドバイザー経費)を行った。	0.90	74	65	74
3		信州産魚介類消費拡大推進事業	県産魚介類消費拡大のため、PR資材の作成、配布を行った。	0.90	553	520	469
4		釣りリズム信州推進事業	釣りによる漁業振興及び地域振興のため、釣りを核とした地域振興の企画立案の助言・指導を行った。	0.90	174	124	275
5		漁業指導事業	円滑な漁業調整等及び漁協運営の健全化を図るため、内水面漁場管理委員会の開催、漁協の指導、検査を行った。	0.90	1,568	1,420	1,568
6		水産試験場運営費	水産試験場の円滑な運営のため、保守及び維持管理等を行った。	4.70	37,605	38,861	37,352
7		水産試験場試験研究費	水産業の育成と河川湖沼環境の保全のために技術開発を行った。	8.50	12,168	12,126	13,649
8		水産試験場技術指導費	「安全・安心な食品づくり」を推進するため、魚類防疫技術、養魚管理技術及び河川湖沼の漁場管理技術等の普及指導を行った。	4.60	3,577	3,564	3,693
9		水産試験場種苗開発費	水産資源の増大及び養殖業の発展のため、河川湖沼放流用及び養殖用種苗の生産、供給を行った。	7.20	22,660	22,579	24,320
合計				29.50	80,231	81,048	83,252

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	水産振興事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課				
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	30年度					
							29年度 当初(千円)	29年度 要求(千円)	30年度 当初(千円)	30年度 補正(千円)	30年度 決算(千円)	
09 04 08												
1	外来魚等食害防止対策事業	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業を推進するため、調整等事務を行う。	外来魚等食害防止対策のため、全国会議に出席し、他県等の情報収集を行った。	計画通り ○	174	171	171			151
1	外来魚等食害防止対策事業	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚等による漁業被害防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助（補助先：漁協等）を行う。	外来魚対策9団体、カワウ対策6団体、ミンク対策1団体の取組に経費補助し、漁業被害等防止対策を推進した。	計画通り ○	1,681	1,681	1,681			1,638
2	諏訪湖環境改善対策事業	漁場活性化のための取組検討	直接	漁場の活性化のための取組についてアドバイザーから助言を得る。	12月に国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所から専門家を招聘し、ドローンによる諏訪湖での魚食性鳥類対策検討会議を開催した。	計画通り ○	74	74	74			65
3	（組新）信州産魚介類消費拡大推進事業	信州のおさかなPR事業	直接	県産養殖魚、河川湖沼魚介類消費拡大のため、PRパンフレットを作成する。	県産魚介類消費拡大のため、PRパンフレット1,500部を作成し、県調理師会、県養士会及び長野県立大学に配布した。	計画通り ○	0	553	553			520
4	釣りリズム信州推進事業	釣り情報発信力向上	委託	-	-		0	2,000	0			0
4	釣りリズム信州推進事業	遊漁振興推進指導事業	直接	釣りによる漁業及び地域振興を図るため、釣りを観光資源と捉え振興を図ろうとする地域に対して助言・指導を行う。	遊漁振興推進事業として、平成29年に引き続き、千曲市戸倉上山田地区の取組に助言・指導を行った。また、平成30年から始まった木祖村の取組に助言・指導を行った。	計画通り ○	250	250	174			124
4	釣りリズム信州推進事業	信州の釣りPR事業	委託	-	-		1,109	0	0			0
5	漁業指導事業	内水面漁場管理委員会の運営	直接	円滑な漁業調整を図るため、内水面漁場管理委員会を開催（3回）	内水面漁場管理委員会を3回開催し、知事の諮問事項等の協議を行った。	計画通り ○	1,218	1,218	1,218			1,132
5	漁業指導事業	漁業指導調整事業	直接	適正な漁場管理を図るため、漁業協同組合の法令遵守等を指導（国庫1/2）	県内の漁業協同組合に対し、漁業権の管理や行使について指導を行った。	計画通り ○	257	257	257			239
5	漁業指導事業	組合検査指導事業	直接	健全な漁協運営を図るため、漁業協同組合の業務、会計状況の検査（13漁協）を実施	漁業協同組合の業務、会計状況について、13漁協で検査を実施した。	計画通り ○	53	53	53			49
5	漁業指導事業	漁場利用調整事業	直接	円滑な漁業調整を図るため、漁業権者の申出に基づく協議会の開催	平成30年度は漁業権者からの申出が無く、協議会は設置されなかった。	未実施 ×	40	40	40			0
6	水産試験場運営費	運営費	直接	水産試験場の円滑な運営のため、保守及び維持管理、予算の執行	水産試験場の保守及び維持管理、予算執行により、円滑な運営を実施した。	計画通り ○	37,245	37,853	37,605			38,861
7	水産試験場試験研究費	増養殖技術の改良・確立	直接	増殖技術の高度化のため、以下の試験研究を行う。 ・アユの疾病対策 ・溪流魚への温暖化緩和技術の開発 ・特定疾病対策研究 ・ワカサギの遊漁利用技術開発	・アユの疾病対策 放流種苗検査 16件 ・溪流魚への温暖化緩和技術の開発 支流の利用生態の解明 ・特定疾病対策研究 KHV病・レッドマウス病の防疫 ・ワカサギの遊漁利用技術開発 遊漁振興方策の試行	計画通り ○	6,635	5,454	5,454			5,435
7	水産試験場試験研究費	市場性の高い品種の開発	直接	品質の良い養殖魚を生産するため、以下の試験研究を行う。 ・信州ブランド魚の開発・品種改良 ・信州ブランド魚の高品質生産技術開発 ・ニジマス海面飼育用種苗開発試験	・信州ブランド魚の開発・品種改良 育種素材の開発・保存 ・信州ブランド魚の高品質生産技術開発 冷凍加工技術研究 ・ニジマス海面飼育用種苗開発試験 系統別の成長比較及び抗病性比較試験	計画通り ○	2,606	4,606	4,606			4,590
7	水産試験場試験研究費	水産環境の保全	直接	水産資源の保護培養のため、以下の試験研究を行う。 ・外来魚駆除技術開発 ・諏訪湖の漁業安定化技術開発	・外来魚駆除技術開発 河川における駆除技術開発 ・諏訪湖の漁業安定化技術開発 シジミ増養殖技術開発	計画通り ○	1,827	2,127	2,108			2,101
8	水産試験場技術指導費	養殖漁業指導	直接	養殖業の発展を図るため、魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する指導及び養魚場巡回指導を行う。また、養魚技術講習会を開催する。	・魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する指導 814件 ・養魚場巡回指導 薬事巡回指導 20件、信州サーモン等生産者 20件 ・養魚技術講習会の開催 4回	計画通り ○	3,055	2,431	2,431			2,422

事業番号	事業名	水産振興事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課				
09 04 08												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
8	水産試験場技術指導費	河川湖沼漁業指導	直接	河川湖沼漁業の発展を図るため、外来魚対策など環境保全指導、増殖手法の普及や漁場管理の指導を行う。また、漁場管理講習会を開催する。	・外来魚対策など水産環境保全指導・増殖手法の普及や漁場管理の指導 352件 ・漁場管理講習会の開催 1件	計画通り ○	913	512	512		510	
8	水産試験場技術指導費	寒天製造技術指導	直接	良質な天然寒天の安定生産を図るため、製造期の巡回指導、原藻の性状分析、製品等の依頼分析を行う。	・製造期の巡回指導 13件 ・原藻の性状分析 5件 ・製品等の依頼分析 229件	計画通り ○	646	634	634		632	
9	水産試験場種苗開発費	ニジマス種苗供給	直接	養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵130万粒、不用魚100kg	・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵214万粒、不用魚600kg	計画通り ○	2,909	2,909	2,909		2,899	
9	水産試験場種苗開発費	在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚36万尾 イワナ普通卵10万粒、信州大王イワナ稚魚4.0万尾	・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚36.6万尾 イワナ普通卵56万粒、信州大王イワナ稚魚5.9万尾	計画通り ○	7,291	7,291	7,291		7,265	
9	水産試験場種苗開発費	アユ種苗供給	直接	河川湖沼における水産資源の増大、養殖魚の品質向上のため、以下の種苗供給を行う。 ・アユ種苗の供給 稚魚70万尾、大型稚魚10万尾	・アユ種苗の供給 稚魚20.5万尾、大型稚魚7.3万尾	計画未済 △	10,351	8,079	8,079		8,050	
9	水産試験場種苗開発費	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	河川湖沼における水産資源の増大、養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚80万尾、稚魚10万尾、未成魚600kg ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ稚魚30万尾、ウグイ大型稚魚100kg フナ親魚1.2トン	・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚77.4万尾、稚魚10万尾、未成魚900kg ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ稚魚20.3万尾、ウグイ大型稚魚89kg フナ親魚1.2トン	計画通り ○	3,371	4,381	4,381		4,365	
	新たなブランド魚振興事業	PR資材の作成・配布	直接	-	-		357	-	-		-	
合 計								82,062	82,574	80,231	0	81,048